



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2020
5.31
No.71

CONTENTS

緊急アンケート
介護業界は
新型コロナウイルス感染症に
どう立ち向かっていくべきか

前編

2

第4回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
入選作品掲載

5

●今月の「介護ビジョン」
●第5回「介護のみらい」
作文コンクールのご案内

6

●「介護福祉経営士2級」
資格認定試験対策
ポイント整理講座のご案内

●INFORMATION

7

第5回全国介護福祉総合
フェスティバル in 仙台
開催のお知らせ

8

前編

介護業界は
新型コロナウイルス感染症に
どう立ち向かっていくべきか

緊急アンケート



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>

制作:株式会社日本医療企画

編集・発行人:林 諄

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
ニッテン神田ビル3階



介護業界は新型コロナウイルス感染症に どう立ち向かっていくべきか 前編

新型コロナウイルスの感染拡大によって介護業界にも大きな影響が出ている。事業活動に大きな制限がかかるなか、従来以上に運営コストも増大している。一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会では会員に対しアンケートを実施。前後編に分け、介護福祉経営士の視点から見たコロナ禍の影響とそれぞれの取り組みを紹介する。

さまざまな形で事業運営のためのコストや リスクが増大中

アンケートの実施期間は2020年4月3日～24日。全会員に向けメールで参加を呼びかけ、うち155人から回答を得ることができた。

回答者の職業の属性は施設・居住系サービス事業者が27.7%、次いで多かったのは居宅サービス事業者で22.6%。以降はコンサルティング業13.5%、介護関連企業・一般企業12.3%、医療機関9.7%、その他9.7%、金融業4.5%となった。

「新型コロナウイルス感染症によって業務にどのような影響があるか」という質問に対しては、マスクをはじめとする感染予防用品の入手難易度が上がっているとの回答が多かった(図1)。こうした物品の確保については3月10日に政府より公表された「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策―第2弾―」においても、消毒液の購入補助や、政府によるマスクの一括購入及び介護施設等への配布について盛り

込まれてはいるものの、現場で実感できるレベルで状況の改善につながっていないという認識があると考えられる。

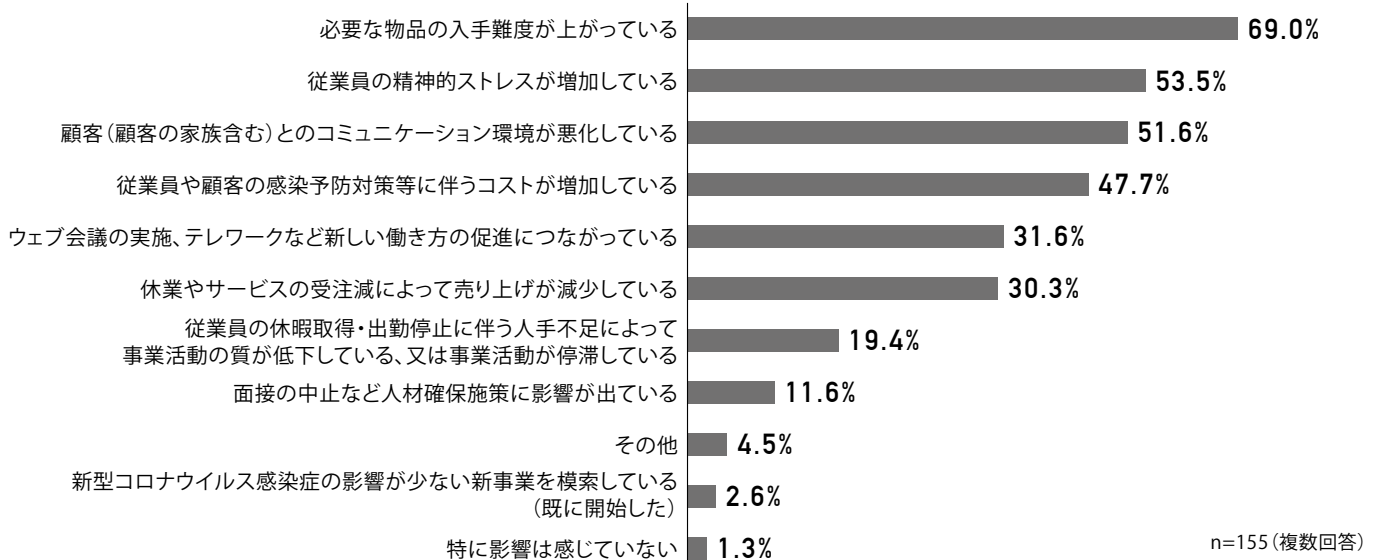
また、従業員の精神的ストレスの増加や、利用者等とのコミュニケーション環境の悪化を懸念する声も多い。

アンケートより抜粋

従業員の精神的ストレスや利用者との コミュニケーションの悪化に対する懸念の声

- 従業員の安全確保がされないと従業員の不安や不満が増大する。行政にコロナ発生地域等の情報開示を求めたい。
- 先が見えず、職員もストレスになっている。各イベントが中止となり、モチベーションが低下している。
- 在宅利用者には様々な環境の違いがあり、個別の対応が必要となるが、行政等の対応は一律となりやすく見過ごされる方が多くなると思われる。
- 人と対峙する介護の仕事は職員間・入居者・利用者・ご家族と連絡を密にするコミュニケーションの仕事でもあり、それを阻害されることは運営として難しさを感じています。

図1 新型コロナウイルス感染症によって業務にどのような影響があるか



加えて人材確保や物品の入手の場面での感染予防対策コストの増加が業務に影響しているとの回答も半数近くに及んでおり、予定外の運営コストの増加が事業継続のための大きな障害として認識されていると予想される。

少ないリソースを活かしながら 感染予防体制をいかに維持・改善していくのか

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防策が十分に実施されていると感じるか？という質問に対しては、半数以上から肯定的な返答が寄せられている。(図2)

これは業界全体が事業継続のためには感染予防策が

図2 感染予防策が十分に実施されていると感じるか

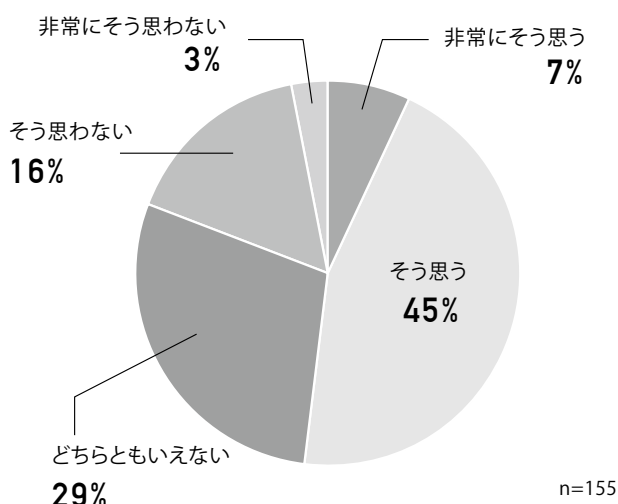
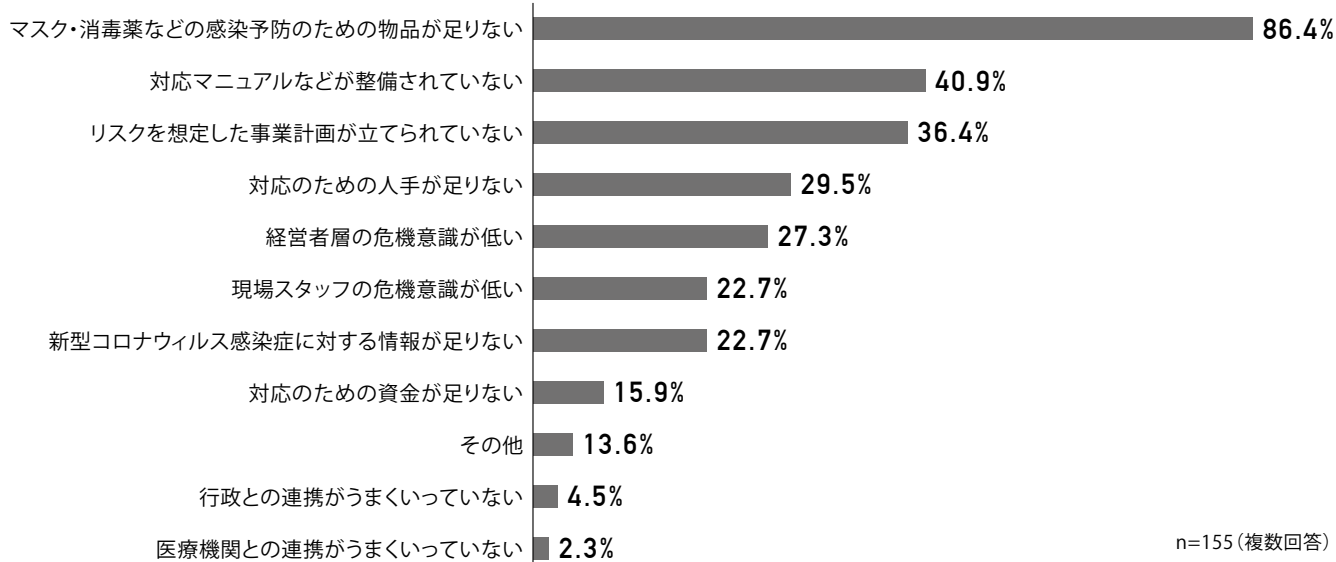


図3 感染予防策が十分でないと感じた理由



重要であると強く認識しており、徹底した対応をとっている事業者が多いためであると考えられる。

一方で自組織の感染予防策が不十分と感じた回答者に対し、その理由を尋ねたところ、図3のような結果となった。

挙げられている理由としては「感染予防のための物品の不足」がやはり最も多かった。加えて約4割の回答者から「対応マニュアルなどが整備されていない」点が挙げられている。これは同じく4割近くの回答があった「リスクを想定した事業計画が立てられていない」という回答や3割程度の回答があった「経営者層の危機意識が低い」という内容とある程度の相関関係があるものと推測される。

アンケートより抜粋

感染予防策の不十分さを懸念する声

- 訪問介護、訪問看護従事者の防御具の確保に課題を感じている。N95マスク、サージカルマスクなどは最近、ようやく、SNSや取引先から「入手したので販売できる」と情報が入ってくる。ゴーグルは情報が入ってこない。
- 組織によって危機感や対策にばらつきがある。この状態では感染拡大は防止できないとの印象を持っている。
- 近隣病院や施設でクラスターが発生しているにもかかわらず、自治体や行政からは何も情報がない。地域一体となって感染拡大を食い止めなければ医療崩壊が起きてしまう。職員は気持ちが張り詰めた中、必死で頑張ってくれているが、自施設からいつ陽性者が出てしまうかと考えると恐ろしい。

想定外の状況に対する不安や不満に 今後どう対処していくのか

今回のアンケートにおいて、最も顕著だったのはやはりマスクや消毒薬をはじめとする感染予防物品の不足に対する不安であった。

加えて、人手不足や、経営者の意識改革、リスクマネジメントを踏まえた事業計画の見直し、マニュアルの再整備などを必要とする声も少なくない。

アンケートより抜粋

地域連携の必要性を訴える声

- 各団体で情報の集約を行い、クラスター発生時のクライアントのサービスの確保や資源の共同購入などを通して特に情報や流通手段などの入手手段の乏しい事業所及び利用者等を守る方法を構築しないと地域の資源が連鎖崩壊してしまう恐れがあると感じている。
- 地域によっては既に医療崩壊しており、往診医がいても入院には至れず、入居者が感染疑いであった場合、対策予防を継続したのちに陽性反応が出たら全職員が濃厚接触者として勤務停止せざるを得ない。他法人や他ホームとの連携も現実的にどこも人員不足している中で協力体制が整う保障もない。上記が現実になった場合、事業継続のための方法が見出せていない。

また、5月11日開催の衆院予算委員会にて加藤勝信厚生労働大臣は5月10日時点のクラスター数について「約250件あるのではないかと述べている。その際、主なクラスター発生場所として医療機関85件、福祉施設57件、飲食店23件が挙げられている。福祉施設の事例の中には利用者や職員が複数の施設にまたがって活動し、感染を拡大させているケースもある。現状では自施設の予防対策だけではなく、地域全体を巻き込んだ感染予防体制の構築が急務となっており、アンケートでもそうした声が寄せられている。

しかしながら、これらの課題を一度に解決することは難しい。

地道ではあるが、一つひとつ優先順位をつけながら体制を整えていくことで組織力の向上につなげていくことがコロナ禍に対する一つの対応方法となるのではないだろうか。

そして、介護福祉経営士の皆様にはこうした地道な対応が必要な場面こそ、身に着けたマネジメント能力を十全に活かして介護現場の支えとなっていただきたい。

次号掲載予定の特集後編では介護をとりまくさまざまな業界で活躍している介護福祉経営士だからこそ“今”何ができるのかに焦点をあて、引き続きアンケート結果のレポートを掲載していく。

新型コロナウイルス関連感染症の国内感染者数16,024名

国内の死亡者668名 国内の退院者9,868名 (5月13日0:00現在)

(括弧内は前日比)

	PCR検査 実施人数 ^(※3)	PCR検査 陽性者数	入院治療等を要する者		退院または 療養解除と なった者の数	死亡者数	確認中 ^(※4)
				うち重症者			
国内事例 ^(※1) (チャーター便帰国者を除く)	188,031 (+4,534)	15,854 (+78) ^(※2)	5,162 (-752)	259 (+16)	9,851 (+948)	668 (+25)	173 (-73)
空港検疫	34,807 (+633)	155 (+2)	153 (+2)	0	2	0	0
チャーター便 帰国者事例	829	15	0	0	15	0	0
合計	223,667 (+5,167)	16,024 (+80) ^(※2)	5,315 (-750)	259 (+16)	9,868 (+948)	668 (+25)	173 (-73)

※1：チャーター便を除く国内事例については、令和2年5月8日公表分から、データソースを従来の厚生労働省が把握した個票を積み上げたものから、各自治体がウェブサイト上で公表している数等を積み上げたものに変更した。

※2：新規陽性者数は、各自治体がプレスリリースしている個別の事例数を積み上げて算出したものであり、前日の総数からの増減とは異なる場合がある。

※3：PCR検査実施人数は、一部自治体について件数を計上しているため、実際の人数より過大である。また、人数を公表していない自治体の数は計上しておらず、更新がなかった自治体については、前日の数値を使用している。

出展：厚生労働省ホームページより

この度のアンケートにご協力いただいた皆様、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。



vol.7

入選作品掲載

第4回「介護福祉のみらい」作文コンクール

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する場として、第4回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施。全国から寄せられた448編から黒澤貞夫審査委員長（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）のもと厳正な審査が行われた。入選作品を紹介する。

最優秀賞

「じいちゃん、ありがとう。」

小塚 美空さん

(栃木県立真岡北陵高等学校 教養福祉科 2年)

三年前、私は祖父の姿を見て涙を流した。目の前には今までのように笑って、たくさん話してくれる祖父はいなかった。祖父は舌癌で舌を摘出する手術をした。口から食べ物を食べることも、言葉を発することもできなくなってしまった。

私は今まで祖父のことが、あまり好きではなかった。顔を合わせれば口喧嘩をして、会うのが嫌だと思っていた。

そんな時、祖父は舌が痛いと言え病院に通い始めていた。祖父が病院に入院した時も、私は一度お見舞いに行ったり行かなかった。今思い返すと、あの時行っていればと考え後悔をしている。私が二度目に病院に行ったのは手術後だった。私は祖父の姿を見て、立ち尽くし言葉が出ず、気付けば涙が溢れていた。

「じいちゃん、どうしたの？」

今まで何事もなかったように毎日を過ごして、祖父のことを拒んでいた私は、こう話しかけることしかできなかった。

私の質問に対し祖父は筆談でこう答えた。

「みく来てくれたんだね、ありがとう。」予想もしなかった返事に、私は頭を真っ白にした。「ありがとう」の言葉を聞いて、今までの自分の行動や言動をとっても後悔した。そして日に日に祖父の背中が小さくなり、今までの面影は無くなっていった。

退院後、祖父は全然元気がなかった。誰かが家に来れば喜ぶ祖父も、テレビを楽しそうに見る祖父ももういなかった。

少しでも元気になってもらいたくて、私は祖父の体の清拭を看護師や介護職の人達と一緒にやった。でも祖父は清拭を断るようになり、話しかける機会が減った。出かけることも、人と関わることも避けている祖父がいた。

私はある日、祖父にある質問をした。

「じいちゃんは、みんなと話すこと楽しくなくなっちゃった？」祖父はこの質問に対し首を振り、正直な気持ちを少しずつ話してくれた。今までみたく話せない自分、迷惑のかかる自分が嫌だと言ってくれた。その言葉を聞いて福祉科に入学しようと決めた。少しでもそう思ってしまった祖父を変えたい、介護のことを学び実践したいと強く思った。

私が介護のことを学び始めると聞くと、祖父は嬉しそうにしてくれた。「私がじいちゃんの介護するから任せて、迷惑って思っちゃだめだよ。」と伝えると、祖父は「ありがとう」と答えてくれた。

それから祖父は積極的に人の手を借りて、前みたいに楽しんでいる祖父が見られるようになった。

私は人の思いや弱さを見つけ、受け止めることが介護には大切なんだと感じた。今までのことを後悔している私は、これから大切にしていきたい。福祉を学びたいと思わせてくれた祖父のために。介護技術も声かけも未熟な私だけど、誰よりも人の心に寄り添える介護士を目指し、日々の授業や、実技練習、実習を自分のために生かしていく。

受賞者コメント

最優秀賞に選んでいただき、大変嬉しく思います。作文は祖父に対する気持ちを書きました。作文に込めた私の気持ちが誰かの気持ちに響くことができたかと思うと、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。この先もこの気持ちを忘れず、日々頑張っていきます。

小塚美空さん



地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

介護が地域にできること 地域課題に気づきその解決を図るために

困っている人を助けたい——。介護事業は社会福祉の一環であり、そこに携わろうとする人の心の底流には、こうした思いが流れているはずだ。日本は人口減少時代を迎え、多くの地域そのものが困った状況に立ち至ろうとしている。そうした状況において、介護事業者は地域のキーマンとなる可能性を秘めており、その可能性を花開かせる時代が到来しようとしている。そんな時代の介護事業者の役割を、改めて考察する。

コミュニティのために行動するセンターに
山崎 亮 (株式会社studio-L 代表取締役)

ごちゃまぜという思想から本格的なまちづくりへ
地域における役割を広げていく佛子園

雄谷 良成 (社会福祉法人佛子園理事長)

困りごとの解決から自らの役割を広げていく
団地の高齢者の課題を助ける“御用聞き”

古市 盛久 (株式会社御用聞き代表取締役)

高齢者の役割づくりと地域経済の活性化をつなぐ
生き甲斐づくりを事業化するHappy Care Life

中林 正太 (Happy Care Life 株式会社代表取締役)

第2特集

生き延びるために 介護事業者が今とるべき一手

緊急特集

新型コロナの教訓2 感染者発生時の介護事業者の対応

2020年6月号

(2020年
5月20日発売)



詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円 (税込)
- 定期購読料: 15,552円 (税込)
- ※ 会員価格は12,444円 (税込)

ぜひご応募ください!

第5回

「介護のみらい」作文コンクール

私たちがだから
伝えられることがある

趣 旨	将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。
募集期間	2020年6月1日(月)～8月31日(月) ※郵送の場合は必着
応募資格	中学生、高校生の方
テ ー マ	以下のテーマ(課題)の中から好きなもの一つを選んで、あなたが感じることを、考えることを自由に書いてください。 ● 介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと ● 自分の老後を想像して考えたこと ● これからの介護や福祉に関する私の意見

詳しい募集内容は一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会のホームページにてご案内します。



めざせ
合格!

「介護福祉経営士2級」資格認定試験対策 ポイント整理講座のご案内

とにかく最短で要点
のみを押さえたい!

1日講座

介護業界関係者など、すでに基礎知識がある方にオススメの短期集中型の講座です。1日で試験合格に必要なポイントを学ぶことができます。

日程

【第1回】2020年7月11日(土) 9:30~17:30
【第2回】2020年11月14日(土) 9:30~17:30

■講師

馬場博氏(一般社団法人C.C.Net専務理事・チーフアドバイザー)

■受講料

1日講座:15,000円(税込) 2日講座:22,000円(税込)

■持参物

「介護福祉経営士テキスト基礎編(全10巻)」(株式会社 日本医療企画刊/1セット24,100円(税込))をテキストに使用します。各自お買い求めいただきご持参ください。または、当日販売も受け付けております。お申し込みの際にどちらかお選びください。

基礎からしっかりと
学びたい!

2日講座

これから介護業界の基礎知識を学ぼうと考えている他業界の方にオススメの講座です。2日に分けて丁寧に介護の基礎知識と試験対策ポイントを解説します。

日程

【1日目】2021年2月20日(土) 9:30~16:30
【2日目】2021年2月21日(日) 9:30~15:30

■申し込み方法

株式会社 日本医療企画ホームページよりお申し込みください。
<https://www.jmp.co.jp/seminar/kfk/class2/hattiyobori/>

■お問い合わせ

株式会社日本医療企画 関東支社
TEL:03-3256-2885 FAX:03-3256-2865



※新型コロナウイルスなどの影響により、開催日程の変更・延期、開催方式の変更などが生じる場合がございます。ご了承ください。

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 「介護福祉経営士」資格認定試験の実施について

「介護福祉経営士」資格認定試験は、受験者ご自身で会場と日程をWeb上で予約し、会場のパソコンで試験を行うCBT方式です。

このたびの緊急事態宣言などを受け、試験を休止する試験会場などが生じています。最新の情報については試験の運営元であるJ-Testingまでご確認ください。

J-Testing 新型コロナウイルス(COVID-19)に関するお知らせ

<http://j-testing.jp/>

J-Testing事務局ヘルプデスク

<http://j-testing.jp/cbt/contact.html>

E-mail: help@j-testing.jp TEL:03-3518-9660

【営業時間:9:00~18:00(土日祝、国民の休日、年末年始を除く日)】

当協会における新型コロナウイルス及び昨今の社会情勢に応じた対応については協会ホームページでもご案内していきます。

協会ホームページ

<http://www.nkfk.jp/>

これから受験申込をされる方は、上記についてご注意の上、お申し込みください。ご協力とご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

事務局移転のお知らせ

本会本部事務局は、2020年6月8日(月)より移転いたします。

新事務局は東京メトロ日比谷線・JR京葉線八丁堀駅にほど近く、セミナールームも備えており、会員の皆様の活動拠点としてご利用いただけるものと存じます。

これを機にさらに業務の充実を図り、皆様のご期待に添えますよう、一層の努力を重ねてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

移転先

〒104-0032

東京都中央区八丁堀三丁目20番5号

S-GATE八丁堀9階

TEL:03-3553-2896 FAX:03-3553-2897

第5回

全国介護福祉 総合フェスティバル

in 仙台

2020年
11/13・14
(金) (土)

こ こ が み ど こ ろ

介護業界のトレンドが
まるわかり!

実際に見て、触れて、学べる
最新技術

さまざまなトークショーや
セミナーを開催

多数の展示コーナーや
体験ブースを用意



会場 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス
(宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-26)

アクセス ●JR仙台駅徒歩3分
●地下鉄東西線宮城野通駅徒歩3分

詳細や過去の開催の様子は協会ホームページ

<http://www.nkfk.jp>

からご確認ください▶▶▶



主催

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル3階
TEL.03-3256-0571 FAX.03-3256-0572 Mail:info@nkfk.jp

お問い合わせ先

日本介護福祉経営人材教育協会 東北支部(株式会社日本医療企画 東北支社内)
TEL.022-281-8536 FAX.022-281-8537 Mail:jmp-tohoku@jmp.co.jp